

10/21
月

介護「しんどい」 もつと居場所を

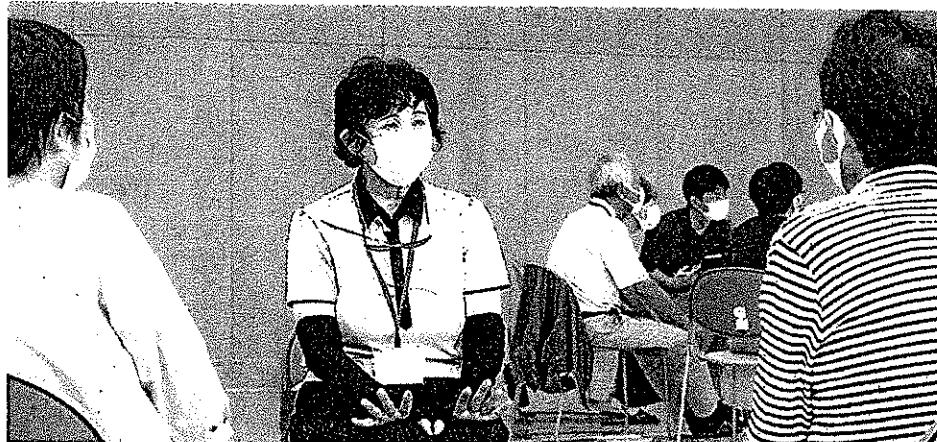
ストレスを抱え、孤立しがちな介護者の支援が求められている。敦賀市では昨年十一月、介護していた家族三人を殺害したとして七十年代女性が逮捕された。市はこの事件を受け九月から介護やすらぎカフェを各地域の公民館などで開いている。しかし、介護に忙殺されている人が、限られた日程に合わせて参加する」とは難しい。専門家は「困っている人が、どうしたら居場所にたどり着く」とがでるかを考えてほしい」と話す。

(高野正憲)



敦賀市立介護支援センター
日本ケアラー連盟代表理事の
牧野さん=牧野史子さん提供

支援団体「電話相談」を提案



参加者たちの介護体験談に耳を傾けるカフェのスタッフ=敦賀市中郷公民館で

し合の座談会を設けていた。不足しがちな運動に取り組んだり、チェックシートで自分に介護負担がどれだけ掛かっているかを分析したりする回もある。

しかし、要介護者の家族を取り組みを提案する。自分研究者でつくる「日本ケアラー連盟」代表理事の牧野史子さんは、「参加した人には効果があり、」した場を設けることは大切。ただ、本当に介護で窮している人は参加する余裕がないのでは」と指摘する。

敦賀署や市などによる事件で逮捕された女性は、会社の経理を務めながら、自宅で夫と義父母を介護していた。一部介護サービスを利用していただが、ほとんど一人で面倒を見ていた。周囲に「しんどい」と

敦賀「やすらぎカフェ」巡回

漏りしていた。

牧野さんは介護に忙殺さ

れている人が、限られた日程に合わせて参加すること

はなかなか難しいとい

「理想としては場所が固定されていて、最低でも週に二、三回開いている」と

介護者の都合で行ける」と

が望ましい」。

その上で「電話相談」の取り組みを提案する。自分

でカフェに行く余裕もない

人の相談を電話で受けて状況を聞き取り、最寄りのカ

フェへ案内するサービスを提唱。「介護者たちが根本

的に何に困っているかを支

援する側が理解しなくて

は、ミスマッチが起きる。

まずは実態の調査をしてほ

しい」と行政に投げ掛け

る。

市の担当者は「在宅での介護が必要な人も、出席し

やすい環境づくりが必要だ

と考えている。今後、事業者と改善していきたい」と話した。